

えべつ 市議会だより

平成25年8月1日発行

No.114

発行 江別市議会
江別市高砂町6番地
電話011(381)1051
編集 市議会報編集委員会
印刷 江別印刷業協同組合



～ 農業体験(グリーンスクール)に参加する小学生 ～

新型インフルエンザ等対策本部条例などを可決

主な内容

- ◇ 第2回定例会の概要…………… 2～3
- ◇ 一般質問…………… 4～6
- ◇ 委員会・会派構成、議会の動き…………… 7
- ◇ 意見書等…………… 8

市議会ホームページ <http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/gikai/>

障がいのある方のための、点字とカセットテープによる「えべつ市議会だより」もあります。

〔詳細〕福祉課障がい福祉係 ☎381-1031

平成25年 第2回 定例会

条例・一般議案

◎新型インフルエンザ等対策 本部条例の制定

新型インフルエンザ等対策特別措置法が施行され、緊急事態宣言が発せられたときは直ちに市町村で対策本部を設置することが義務付けられたことに伴い、対策本部の組織や運営に関して必要な事項を定めるため、新たに条例を制定するものです。

◎災害派遣手当等の支給に関する条例の制定

新型インフルエンザの大流行や大規模災害等が発生した際に、災害対策等に従事するため他の市町村等から派遣された職員に対して災害派遣手当等を支給できるように、新たに条例を制定するものです。

◎総合計画の策定等を議会の議決事件として定める条例の制定

地方自治法の一部改正により、総合計画の策定には議会の議決が必要であった規定が削除されました。総合計画は市の基本的な方向性を定める極めて重要な計画であることから、計画を策定、変更又は

廃止する際に、引き続き議会において議論、議決することを定めるものです。

◎市税条例の一部改正

今回の改正は、市が不利益処分等を行う際には、市民の権利保護の観点などから理由を付記することとなるほか、国税の見直しに合わせ、市税の延滞金等の割合を引き下げるものです。

また、個人市民税の住宅ローン控除の対象期間が平成29年まで延長されるほか、地方税法の一部改正に伴い、条文で引用している条項の整備を行うものです。

◎都市計画税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、条文で引用している条項の整備を行うものです。

◎国民健康保険税条例の一部改正

地方税法の一部改正により、東日本大震災被災者の国民健康保険税を軽減するため、震災で居住できなくなった家屋の敷地を譲渡した場合の課税の特例について、相続人についても対象となるよう適用の範囲を拡大するものです。

◎後期高齢者医療に関する条例及び介護保険条例の一部改正

市税条例の一部改正に伴い、保険料の延滞金の割合を引き下げるものです。

◎男女共同参画を推進するための条例の一部改正

男女共同参画審議会の委員の任期について、2期4年を限度としていましたが、これまでの審議の積み重ねを生かしつつ、次代を見据えたより良い計画を作るため、委員の再任に上限を設けないよう改正するものです。

◎市職員の給与に関する条例の一部改正

臨時又は緊急の必要により災害対策本部に従事する等、休日に勤務を命ぜられた管理職員が代休を取得できなかった場合などに支給する管理職員特別勤務手当の規定を追加するものです。

また、市立病院では、高齢患者が食べ物を口から摂取する訓練として、摂食機能療法の導入が求められていることから言語聴覚士を採用するため、医療職給料表の対象に言語聴覚士を追加するものです。

◎町の区域の変更

元野幌の一部を大麻泉町として、町名を変更するものです。なお、変更は11月の予定でです。

◎財産の取得

老朽化に伴い、大型ロータリー除雪車1台を3千660万3千円で、消防ポンプ自動車1台を2千509万5千円で購入し、更新するものです。

また、子供たちに分かりやすい授業を実施するため、電子黒板を107台購入し市内全ての小中学校に設置するほか、小学校教職員の事務の効率化を図り、子供と向き合う時間を増やすため、校務用ノートパソコンを239台、画像・動画編集用コンピュータを18台購入するものです。



人 事

◎北海道市町村総合事務組合
規約の一部変更
組合を構成する団体の変更に伴い、必要な改正を行うものです。

◎札幌広域圏組合議会議員の補欠選挙
◇清水直幸議員が当選。

◎石狩教育研修センター組合議会議員の補欠選挙
◇岡英彦議員が当選。

◎議長選挙
◇清水直幸議員が当選。

◎人権擁護委員候補者の推薦
◇澤向ミチ子氏(文京台南町20番地の4)の推薦を可と答申。

◎副議長選挙
◇齊藤佐知子議員が当選。

◎教育委員会委員の任命
◇郷早見氏(上江別西町35番地の17)の再任に同意。

◎石狩東部広域水道企業団議会議員の補欠選挙
◇齊藤佐知子議員が当選。

◎監査委員の選任
◇岡村繁美議員の選任に同意。

◎農業委員会委員の推薦
◇山本由美子議員の推薦を決定。

予 算

◎一般会計補正予算
国等の予算動向による変更や緊急を要するものへの措置などにより、7億6千531万円を増額し、予算総額は、46億1千531万円になりました。

報 告

◎専決処分の承認(国民健康保険条例の一部改正)
地方税法の一部改正により、3月31日付けで市長が専決処分を行った国民健康保険条例の一部改正を承認したもので、後期高齢者医療制度へ移行した方がいる世帯の国民健康保険税について、税額を算定する際の特例措置を恒久化するほか軽減措置を拡大するものです。

◎専決処分
交通事故による物的損害の賠償について、相手方との示談が成立した旨報告されました。

◎一般会計予算繰越明許費の繰越報告
国の緊急経済対策により行う江別の顔づくり事業や校舎屋体耐震化事業など計12事業について、事業の進捗状況や所要期間等を勘案して、17億9千657万500円を25年度に繰り越したものです。

◎下水道事業会計予算の繰越報告
国の緊急経済対策により行う下水道建設事業費について、4億1千540万円を25年度に繰り越したものです。

◎江別振興公社、在宅福祉サービス公社、スポーツ振興財団、フラワーテクニカえべつの平成24年度決算に関する書類
市が出資している公社や財団、株式会社等の24年度決算が報告されました。

～就任にあたって～



議長 清水 直幸



副議長 齊藤佐知子

私たちは、さきの定例会で議長、副議長に選出され、その重責に身の引き締まる思いでございます。

議会は、3月に議会基本条例を制定しました。議員や議会の活動原則のほか、これまでなかった新しい取り組みなどについても定めています。この条例を実りあるものとするために、これからも議会改革を進めていかなければなりません。

皆様の一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

総務文教常任委員会所管事務調査

7月4日に市内小中学校等の調査を実施し、今年度は特色ある教育活動を行っている小学校1校、中学校1校及びセラミックアートセンターを調査しました。

小学校では発達障がいを通級指導教室について、中学校では学び合い等の学習活動や改築に係る基本設計について、それぞれ説明を受けながら視察しました。



一般質問

今定例会では、8人の議員が一般質問を行いました。各議員が行った質問の中から2項目を選び、要約して掲載しています。

おか ひでひこ
英彦 議員

改革江別無所属の会

高齢者の買物場所確保

問 高齢者が安心して買物ができる距離についてどのような認識しているか。

答 23年に実施したまちづくり市民アンケートの結果では、日常生活で歩いていける範囲は、年齢が70歳以上の方で15分以内との回答が7割を占めている。これを距離に換算すると約1キロメートルになり、一応の目安になると考えている。

今後ともこうした環境の中で買物ができる仕組みをつくることは非常に重要と認識しており、地域と企業などが一体となり、買物しやすい環境づくりについて議論ができるよう検討していきたい。

市職員の市内居住

問 市職員採用試験案内の中で、採用後に市内居住を求めていることについてどう考えるか。



職員採用ガイダンス

答 職員採用後の市内居住を受験資格とすることについては、幅広く受験機会を提供し、優秀な人材を確保するという観点から、難しいものと考えているが、本年度から市職員採用試験案内の中に、求める人材として、自ら市内に居住し、という記載を追加したところであり、その実施状況を踏まえ、今後の対応を検討し

ていきたい。
また、採用後においても、居住状況の調査や研修の機会などを通して、市内居住の働き掛けを行いたい。

しまだ やすみ
島田 泰美 議員

自民クラブ

教職員のメンタルヘルス

問 今後の小中学校改修時に、ハード面でのメンタルヘルス対応策を考えているか。

答 労働安全衛生の観点から、教職員が疲労を回復するためスペースなど、快適な職場環境の形成が必要と認識している。

現在、改築を計画している江別太小と江別第一中については実施設計を進めており、通風、採光、断熱など、学校全体として可能な限り良好な環境を整備したい。

教職員専用の休憩場所の確保は難しいが、相談室や会議室などを活用することにより、休憩や相談ができるスペースの確保に努めていきたい。また、改築対象ではない既存の学校施設についても、同様の配慮をしていきたい。



江別第一中学校

市民参画条例の制定

問 施行後4年が経過した自治基本条例の評価を含め、市民参画条例の制定についてどう考えるか。

答 自治基本条例については検討委員会において、関連する条例、制度等の運用状況について検討が行われ、今年の3月に提言を受けている。

その中で、条例をより良いものとするため、市民参加の具体的な整備を進め、その上で、市民参加・市民協働に関する条例の制定につなげていくことが必要としている。

今後は提言を踏まえ、条例解説の見直しや、分かりやす

いパンフレットの作成による認知度の向上など、市民が参加しやすい仕組みの整備を先行して行いたい。

この他、江別市学校教育基本計画、えべつ市民健康づくりプラン21について質問がありました。

たかはし のりこ
高橋 典子 議員

日本共産党議員団

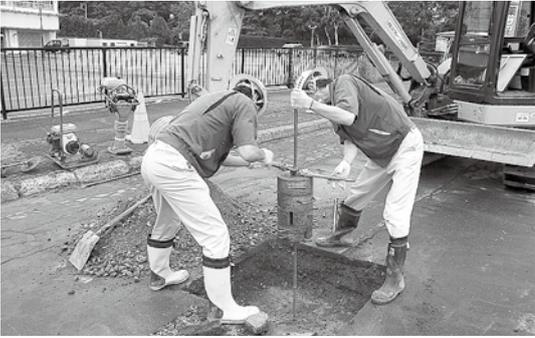
生活保護の対応の適正化

問 生活保護の申請から決定、支給までを、職員体制を整備し、もつと迅速に行えないか。

答 これまでも、被保護世帯数に応じて、職員体制の整備を進め、今年度も1名増員するなど強化を図ってきた。

保護の決定については、資産調査等に時間を要することから、申請から決定までの期間の短縮は難しいと考えている。

今後は、保護費支給のためのシステム改修等により、支給を早めることが可能かについて検討するとともに、保護課の業務量を検証しながら、体制の充実を図っていきたい。



公共工事

公共工事における労務単価

問 労務単価の引上げへの対応について、受注企業に対する周知などはされているか。

答 技能労働者への適切な賃金水準の確保のため、25年度労務単価は大幅に引き上げられた。既に旧労務単価で積算した工事について、新労務単価に基づく契約にするための協議を請求できるとする特例措置については、受注企業に対し、個別に通知し、さらに業界団体に対しても周知した。また、賃金の引上げや社会保険等への加入についても、市国から周知されているが、市としても受注企業や業界団体に対して、適切な対応を行うよう要請している。

この他、職員管理について質問がありました。

そうま よしか
相馬 芳佳 議員

公明党

武道・ダンスの指導の充実

問 武道・ダンスの指導に、教育ボランティアの協力はあったのか。また、謝礼は。

答 ダンスでは、教育ボランティアとして、昨年度1名の方から指導の申出があり、1校の授業に協力していただいている。武道では、柔道において江別柔道連盟から指導者を派遣していただき、授業を行っている。

学校支援地域本部事業などの教育ボランティアについては、無償で協力していただいているが、他のボランティアについては、その内容に応じて、学校の判断により、謝礼を渡す場合もある。

要救助者の位置情報

問 災害発生時に、要救助者の位置情報を入手するための対策はされているか。

答 本年4月に消防庁より、要救助者本人以外の家族などからの通報であっても、消防からの照会で位置情報の入手が可能になる旨の通知があった。消防本部では、これを受け、新たな手続マニュアルを策定し、人の生命、身体等の保護を目的としたものなどの三つの要件を全て満たした場合に、携帯電話会社等から位置情報が提供されることとなった。今後、このマニュアルを慎重かつ的確に運用し、警察等との連携を図りながら迅速に対応していきたい。

この他、部活動へのスクールバス利用、学校教育における体罰について質問がありました。

ほしは よしか
干場 芳子 議員

民主・市民の会

子宮けいがん予防ワクチン

問 子宮けいがん予防ワクチン接種の副反応について、保護者等への十分な説明が必要では。

答 定期接種を行う際には、国から示されている実施要領に基づき、対象者及び医療機

関に対し、必要な情報提供を行っている。医療機関においても、対象者やその保護者に対し、副反応について理解できるよう適切に説明している。なおこのたび、子宮けいがん予防ワクチンについては、副反応との因果関係が明らかになるまでの間、接種を積極的に勧奨しないよう、国から通知があり、対象者や医療機関に対し、情報提供に努めている。

平和の取り組み

問 市として、8月を平和月間とするなど、平和事業に積極的に取り組むべきでは。

答 昨年からヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル展を始め、今年度は市内3公民館にて開催した。また、情報図書館でも平和コーナーを設置することとしている。特定の時期を平和月間と位置付けることなどは現段階では予定していないが、8月は、昨年加盟した平和市長会議の総会に参加し、様々な平和の取り組みの現状に触れ、多くの市民が平和の尊さについて、共通認識を持つことができる取り組みを検討していきたい。



原爆写真パネル展

この他、市民参加、子供の権利条例、再生可能エネルギーの取り組みについて質問がありました。

さかした ひろゆき
坂下 博幸 議員

公明党

高砂駅周辺のまちづくり

問 高砂駅周辺のまちづくりを都市計画に位置付け、課題解決を図っては。

答 高砂駅周辺については、都市計画マスタープランに、地域の日常活動の拠点としての位置付けを検討しているところである。

高砂駅南側の道路整備等、様々な課題については十分承知しており、駅南北口の停車車両の問題などは、交通・地域の安全を考えると、緊急性の高いものという思いを持っている。

課題解決に向けて、一番重要なのは地域の方たちの思いであり、その声を尊重しながら、対応していきたい。



高砂駅前

札幌圏は、民間やNPO法人などでの引き籠もり支援、就労支援などがあり、若者支援体制は比較的整っていると言われている。

ニート支援は、本人の家庭環境や健康状態など、個々の状況が異なり、専門的な対応が必要であるため、市としても、今後とも効率的な庁内連携や専門機関との連携強化、相談体制のPRなどの充実に努めていきたい。

この他、野幌駅周辺のまちづくり、フード特区等における土地利用の考え方、障害者優先調達推進法の対応について質問がありました。

うら
裏
きみこ
君子 議員
公明党

若年層の就業支援

問 ニートが就業に向けて、一歩踏み出すきっかけとなる仕組み等をつくるべきでは。

答 厚生労働省によると、ニートとは、15歳から34歳までの非労働力人口のうち、通学・家事を行っていない者である。

問 市の公共施設の長期修繕計画を早急に策定すべきでは。

答 長期修繕計画とは、今後30年程度に見込まれる公共施設の修繕箇所や時期等を定めるものと理解しているが、当市においては、23年に江別市公共建築物保全マニュアルを作成し、小中学校の耐震化を

長期修繕計画の策定



大麻体育館

最優先に、施設の維持管理を行っている。

市の保有する建物は、築30年以上が経過したものが多く存在し、その修繕、改修等には多くの費用が掛かる懸念がある。長期修繕計画については、財政面や優先度など様々な問題があるが、長期的な展望に立ち、先進事例なども参考にしながら、引き続き調査研究していきたい。

問 成人用肺炎球菌ワクチンの公費助成

答 高齢者の健康維持と医療費抑制の観点から、成人用肺炎球菌ワクチンの公費助成を行う考えはあるか。

答 市として、公費負担により接種を奨励していくために

は、国の有効性・安全性の評価を経て、予防接種法に基づき市町村が実施すべき定期接種に位置付けられることなどが不可欠であると考えている。成人用肺炎球菌ワクチンについては、平成25年3月に国会の厚生労働委員会、25年度末までに、定期接種の対象とすることについて検討し、結論を得る、との附帯決議が採択されており、今後の国の動向などを注視していきたい。

つのだ
角田
はじめ
一 議員
自民クラブ

サービス付き高齢者向け住宅

問 市の高齢者福祉の施策上、サ高住（サービス付き高齢者向け住宅）の役割や影響をどう位置付けているか。

答 介護や医療と連携し、高齢者の安心を支えるサービスを提供するサ高住については、現行の江別市高齢者総合計画の中で具体的な位置付けは行っていないが、高齢者福祉の観点から今後検討する必要があると考えている。

度全体的見直しの中で今後議論されると思われることから、当市においても、国の動向を踏まえ、次期高齢者総合計画策定の段階で議論していきたい。

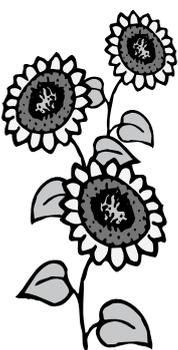
オープンデータ戦略

問 国が進めるオープンデータ戦略に対する市の見解はどうか。

答 国は24年度に、国や地方公共団体などが持つ、様々なデータを誰もが自由に利用できる形で公開することで、国民参加を推進し、経済活性化等を促進させていこうとするオープンデータ戦略を策定している。

既に市民協働の推進等を目的とし、先進的にオープンデータの公開に取り組んでいる自治体もあり、当市においても、データの公開方法等について、国や先進自治体の動向を注視しながら、引き続き検討していきたい。

この他、公職選挙法の改正について質問がありました。



委員会構成

	議会運営委員会	常任委員会			総合計画特別委員会	議会報編集委員会	図書室運営委員会
		総務文教	生活福祉	経済建設			
委員長	三角 芳明	岡 英彦	宮川 正子	鈴木真由美	赤坂 伸一	島田 泰美	角田 一
副委員長	干場 芳子	裏 君子	吉本 和子	野村 尚志	石田 武史	本間 憲一	
委員	内山 祥弘	赤坂 伸一	尾田 善靖	岡村 繁美	内山 祥弘	石田 武史	坂下 博幸
	岡 英彦	石田 武史	相馬 芳佳	齊藤佐知子	坂下 博幸	裏 君子	鈴木真由美
	坂下 博幸	内山 祥弘	高間 専逸	島田 泰美	島田 泰美	吉本 和子	星 秀雄
	高橋 典子	坂下 博幸	立石 静夫	星 秀雄	相馬 芳佳		森好 勇
	角田 一	高橋 典子	干場 芳子	森好 勇	高橋 典子		
	本間 憲一	角田 一	本間 憲一	山本由美子	立石 静夫		
	宮川 正子		三角 芳明		角田 一		
	山本由美子						

会派構成

	民主・市民の会	自民クラブ	改革江別 無所属の会	公明党	日本共産党 議員団
会長	尾田 善靖	三角 芳明	代表 星 秀雄	坂下 博幸	団長 森好 勇
副会長	鈴木真由美				副団長 吉本 和子
幹事長	干場 芳子	角田 一	岡 英彦	宮川 正子	高橋 典子
会計	内山 祥弘	島田 泰美	石田 武史	裏 君子	(副団長兼務)
	赤坂 伸一	清水 直幸	立石 静夫	齊藤佐知子	
	岡村 繁美	高間 専逸	山本由美子	相馬 芳佳	
	本間 憲一	野村 尚志			

議会の動き

〔5月〕

14日 議会改革小委員会

15日 議会運営委員会

29日 経済建設常任委員会

生活福祉常任委員会

30日 総務文教常任委員会

〔6月〕

3日 議会改革小委員会

5日 議会運営委員会

11日～25日 第2回定例会

12日 総務文教常任委員会

生活福祉常任委員会

13日 総合計画特別委員会

総務文教常任委員会

19日 議会運営委員会

19日～20日 一般質問

20日 図書室運営委員会

25日 議会運営委員会

議会報編集委員会

〔7月〕

1日 総合計画特別委員会

4日 総務文教常任委員会

17日 議会報編集委員会

※これ以降の議会の動きについては、次号でお知らせします。

意見書

次の意見書を国に提出しました。

◎生活保護基準引下げに係る各種制度に対する政府の財政措置を求める意見書

8月より生活保護基準が引下げとなり、政府は、就学援助、保育料減免、児童養護施設の運営費等については、できる限りその影響が及ばないよう対応することを基本的考え方とし、地方が単独で行う事業についても、その趣旨を理解した上で各自治体において適切に判断するよう示しています。

特に就学援助制度については、対象となる準要保護世帯の認定基準が生活保護制度をもとに各自治体において設けられているため、基準の変更により直接影響を受けることとなり、自治体では財源の確保に困難を極めているところです。

このため、生活保護基準引下げの影響が各種制度に及ばないように、財政措置も含めた万全の対策を行うよう国に要望しました。

決議

◎総合計画特別委員会の設置

江別市が目指すまちの姿とそれを実現するための基本的な方向性を定めるため、市では平成26年度からの10年間で対象期間とした新しい総合計画を策定します。

平成21年に自治基本条例を制定してから初めて策定する総合計画ですので、条例の理念に基づき、市民と行政が協働して策定に取り組んでおり、議会として必要な調査及び審査を行うため特別委員会を設置しました。



議会を傍聴しませんか

議会はどなたでも傍聴することができます。

本会議の傍聴は、本庁舎の議場(四階)の傍聴席入り口で氏名等を受付票にご記入の上、傍聴規則に従って、ご入場願います。団体で傍聴を希望される場合は、事前に議会事務局にご連絡ください。

また、各常任委員会・特別委員会も傍聴することができます。

(ご連絡・お問い合わせ先)
議会事務局直通
011-381-1051

次の定例会は、
9月の予定です。



〈議会メモ〉

◆意見書

意見書とは、当該地方公共団体の公益に関する事件について市議会としての意思をまとめた文書で、地方自治法第99条に国会又は関係行政庁に提出することができますと定められています。

したがって、公益性があると認められる限り、国の事務、あるいは自治体としての事務であっても提出することができます。

編集後記

今年春先の天候不順で心配されていた農作物の生育も、このところ好天が続き、もち直してきたとの声も聞かれるようになりました。

議会では今年度より新たに、議会や議員の活動原則と市民と市長の関係等を盛り込んだ議会最高規範である「議会基本条例」が施行されています。今後、条例の具体化を図っていく中で、市民への認知度を高めていくことが求められます。

6月定例会においても議長・副議長が交替し、また、各常任委員会の人事構成も変わりました。

編集委員会では皆様のご意見をお寄せいただく中で、より良い議会報を提供できるように努力してまいります。

